報告３

日米知事会議について（報告）

全国知事会事務局

１．2016 年全米知事会議

2015 年全米知事会議での合意を受け、2016 年 7 月 14 日－16 日の日程でアイオワ州デモインで開催された全米知事会議に、平井副会長、湯﨑広島県知事が出席。

7 月 15 日の全米知事会議の開会時に、日本より平井副会長、湯﨑広島県知事が参加している旨、当時会長であったユタ州ハバート知事より紹介されるとともに、以下の公式プログラムに出席。

①アイオワ州主催国際セッション

・テーマ：” Feeding And Fueling the World”
・日　時：７月 14 日 17:00－18:15
・参加者：平井副会長、アイオワ州ブランスタッド知事、ネバダ州サンドバル知事、フロマン米国通商代表、クイン元米国カンボジア大使、アイオワ州レイノルズ副知事　等
・概　要：このセッションでは、貿易、科学技術、イノベーションが、増大する世界人口に対し食料供給を確保していくためにいかに重要であるかが議論された。平井副会長より、乾燥地の環境に適用できる作物育種素材の開発等に関するプレゼンテーションが行われた。

②スペシャルセッション

・テーマ：” Generating Jobs and Economic Growth: Foreign Direct Investment in the US and Selling to the Global Marketplace”

・日　時：７月 15 日 15:00－16:30

・参加者：平井副会長、湯﨑広島県知事、ファノン米パナソニック副社長、ホッケンベリー（司会）、一色北米トヨタエグゼクティブアドバイザー、ケリガン北米 zurich 副社長、横田 JETRO ニューヨーク事務所長、吉永東レ・インダストリーズ・アメリカ社長、アイオワ州ブランスタッド知事、ユタ州ハバート知事、ケンタッキー州ベビン知事、ルイジアナ州エドワード知事　等

・概　要：ケリガン氏よりアメリカ国内への直接投資の状況や直接投資における日本の役割が紹介された後、ホッケンベリー氏の司会の下、日米知事も交えた出席者による日米間の経済・貿易等に関する活発な議論が行われた。

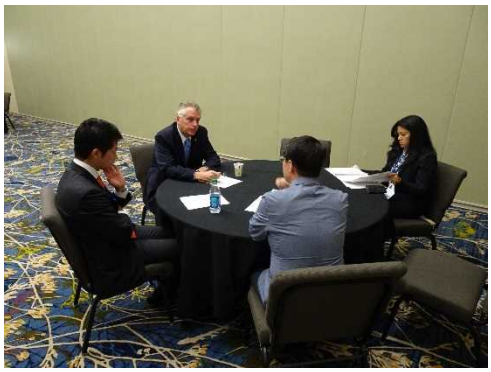
２．来年に向けて

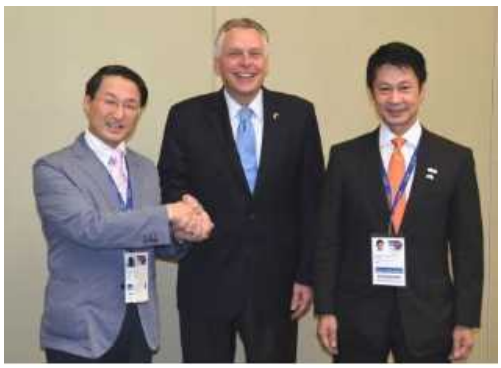
７月 16 日、平井副会長、湯﨑広島県知事は、全米知事会副会長（現在会長

に昇格）バージニア州マコーリフ知事との会談に臨み、今年の取組を踏まえつつ来年以降の日米知事会議の取扱等について協議を行った。

その結果、来年以降も引き続きこうした日米間の会議を発展・開催する方向で検討を進めることとし、米国側知事が日本に訪問することも視野に具体の協議を進めていくとの合意に至った。

このほか、当時会長のユタ州知事、新全米知事会副会長のネバダ州知事、開催地としてホスト役を務めたアイオワ州知事、来夏の全米知事会議開催地であるロードアイランド州知事、日本との交流拡大に高い関心を示すケンタッキー州知事等と会談し、それぞれ協力の要請等を行った。





参　考

１．2015 年全米知事会議（※昨年の全国知事会議において報告）

(1) 全国知事会は、2015 年 7 月 23 日から 25 日までウェストバージニア州ホワイト・サルファー・スプリングスにて開催された全米知事会議に、山田会長の代理として平井副会長を派遣。

(2) 日米知事会議の再開に向けた協議は以下の通り。

① 24 日(現地時間)、全米知事会副会長(現在、会長に昇格)ユタ州ハバート知事主催により、日米知事会議再開の是非等について議論する協議が行われた。米国側は同知事のほかバージニア州知事（現在、副会長に就任)、アイオワ州知事、ミズーリ州知事、アリゾナ州知事、日本側は平井副会長、全国知事会事務局のほか在米日本大使館、JETRO ニューヨーク事務所、CLAIR ニューヨーク事務所が参加。

② 平井副会長は、民主主義などの価値観を共有する両国の知事レベルの対話が 20 年間にわたり中断していることは残念なこととして日米知事会議の再開を提案。米国側からは、日米知事会議を再開させる場合、両国間貿易・投資関係を取り上げ、ビジネスの要素を取り込むこと、さらにビジネス・リーダーを同行させることに極めて高い関心が示された。

③ 日米知事会議を再開すべきという認識は共有され、来夏にアイオワ州デモインで開催される全米知事会議初日（7 月 14 日）に日本側知事が参加するなどの方式で再開を目指すことを軸に、事務的に詳細を詰めることで合意に至った。最後には、当時会長のコロラド州ヒッケンルーパー知事も駆けつけ、再開に賛意を示した。

④ このほか平井副会長は前会長オクラホマ州知事、アラスカ州知事、ワイオミング州知事、ニューヨーク州知事特別顧問とも個別に会談し、日米知事会議再開への協力を要請した。

２．2014 年度までの経緯

①過去の日米知事会議

・1962 年の日本開催を機に、日米交互で定期的に開催（1975 年まで毎年、以降隔年)。

・1995 年に米国側知事訪日により第 23 回交流。

・1997 年は日本側知事訪米の順番だったが米国側の都合で中止。以後、再開されず現在に至る。

②再開を目指した交渉

・2001 年、土屋会長（当時）より全米知事会副会長に再開申入れ

・2003 年、在日米国大使館から全米知事会長が再開の意向を持っている旨の伝達を受け、梶原会長（当時）より全米知事会長との面談を打診

・2014 年、山田会長より全米知事会長に再開提案の書簡送付（6 月、11 月）

・2015 年 3 月、山田会長の依頼により、佐々江駐米大使から全米知事会副会長（ユタ州知事）に再開への協力を要請